

七月二十日

詩集『くじけない』 柴田トヨ九十九歳(天声人語から)

貯金

私はね 人から

やさしさをもらったら

心に貯金しておくの

さびしくなった時は

それを引き出して

元気になる

あなたも

今から

積んでおきなさい

年金より

いいわよ



この夏休みに、この詩のように、いっぱいのお金を貯金して、いつでも誰にでも、そのやさしさを分けてあげられるようになったらいいですね。子どもは本来、たくさんのやさしさの遺伝子を持っているのですから。(子どもに年金の話は早かったですかね・・・笑)

一学期前半の終了

今日は一学期の前期の終わりの日です。二学期制の利点を生かして、最後まで六時間授業ができました。しっかりと夏休みに向けて準備もできたようです。四十二日間の休みになりますが、「早寝早起き朝」

飯」しっかり生活のリズムをつくって過ごして欲しいものです。

七月の間は、夏休み学習会、水慣れ教室、個人懇談と行事がいっぱいです。特に二十三日からは個人懇談です。日頃話せない、気になっている点なども懇談いただいで、これからの連携強化につながればと考えます。ご協力をよろしく願います。

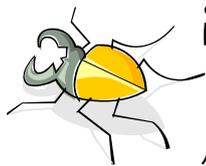
夏休みにしかできない体験を

自然の生の世界の中には、人間を寄せ付けない厳しさや恐怖、人間を包み込む優しさや癒しがあります。この夏、子供たちが少しでも、自然(実物)とふれあう機会を作ってみてはどうでしょう。人形や映像では感じられない心の高ぶり、それは記憶の残り方も違います。体を使って覚えたことは、長い時間忘れません。つまり本物の体験は、心の奥深くに記憶され、いつでも再生可能なのです。

これまでの私達が身につけた、生活の「知恵」はこの体験から生まれたものです。「これは、こんなときは、こうすれば、うまくいく。だから、これはしないほうがいいのだ。」などとまさに「生きる力」の基となっているものです。「知識」と同じくらいに「知恵」が大切です。

夏休みのきまり

不審者事案・交通事故・自転車事故に注意しましょう。これまでの事案では児童が防犯ブザーを使って逃げたり、そのことも被害防止につながったと思われま



被害の未然防止のために防犯ブザー(笛)を携帯する。(防犯ブザーの点検を！)

一人では遊ばない。遊びから帰るときにも、一人になり危険があるときは、どのようにして、その場を逃れるか、家庭・学校で話し合っておく。自転車に乗るときは、ヘルメット着用する。坂道でスピードが出て、コントロールが聞かなくなつて事故になつた例もあります。

被害にあつた場合や遭いそうになつた場合は、直ちに警察・学校へ連絡するように、どうぞよろしく願います。

佐賀県警察本部少年課の資料「少年非行の検挙・補導状況」において検挙数が増加傾向にあると言ふことでした。特に、不良行為少年が前年度より三倍弱(五百五十六人増)に急増しているようです。ちよつとして変化も見逃さないように、日頃からの家族での食事や会話が大切になってきます。

これまでの嬉野小教育活動に、保護者の方々のご理解ご協力ありがとうございました。授業参観・学年行事・PTA行事に昨年度より多く参加していただいております。ありがとございませ

す。四十二日間家庭に戻りますが、これまでを振り返り、個人懇談の資料も活かして、生活・学習のリズムを崩さないように願います。



九月に、元気な子どもの笑顔を待っています。